

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 30 日作成)

委員会名	ポリマーセメント系塗膜防水小委員会	主 査 名：土田 恭義
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会(防水工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設置期間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画	目的：ポリマーセメント系塗膜防水工法の標準化 2003 年度活動計画：使用実態調査の実施 防水工事施工指針本文書の作成	
委員構成 (委員名(所属))	幹事：三浦勇雄(戸田建設) 委員：雨谷俊彦(笹野台カノ)、小川晴果(大林組)、鹿島喜八郎(ORN) 加藤和之(アテック)、甲木豊秀、甲本周平(大日化成)、小林茂(イテック) 榊原弘幸(住友大阪セメント)、中島義人(茶谷産業)、中峰正彦(宇部興産) 中村正樹(日本化成)、三田村俊一(大関化学)、松原知子(建材試験センター) 山宮輝夫(大成建設)、阿知波政史(東亜合成)、東善暉(マノール) 平田宗任(菊水工業)、辺見善一(日本パテックス)	
設置WG (WG名:目的)		
2003 年度予算	60,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会：8 回開催。(4/22, 6/19, 7/16, 8/20, 10/2, 12/4, 1/23, 2/25) 出席延人数：122 名(平均 15.3 名/回) 見学会：建材試験センター(11/11)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 調査研究活動 ・当該防水層の使用実態調査結果。(2004 年度大会論文投稿予定) ・専門工事業者への意識調査結果。 ・品質基準・評価試験に関する検討結果 ・アンケート方式による意識調査結果(2004 年度大会論文投稿予定) 防水シンポジウムの開催(8/22:東京、8/27:大阪) 演題：「外壁接合部防水」「屋上緑化」「防水と環境」「ポリマーセメント系防水の最新情報」 東京会場と大阪会場で計340 名参加。 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)の基本構成と執筆分担
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 本年度の活動計画として、「当該防水工法の施工指針本文書の作成」を掲げた が、施工指針案策定のためには、使用実態調査ならびに意識調査等による実態情 報の更なるデータ収集が必要との判断から、期中の防水シンポジウム参加者によ る意見集約と意識調査を含め、実態調査活動を優先して実施した。 施工指針本文書については、基本構成を作成し、執筆分担を決め年度内に 本文書の作成に着手した。 達成度：70%
その他評価すべき 事項	